

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	ナルク千葉福祉調査センター
所在地	〒297-0026 千葉県茂原市茂原480
評価実施期間	平成21年8月20日～平成22年3月19日

2 評価対象事業者

名 称	キッズプラザアスク海浜幕張保育園	種別： 保育所
代表者氏名	内田 良子	定員（利用者人数）： 59名(72名)
所在地	〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデン東中央館CD棟1階 TEL 043-296-3200	

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

<p>特に評価の高い点</p> <p>平成21年4月より千葉市の認可保育園となり運営されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアル（災害・病気・怪我・感染症など）に沿った保育の実施や保育園内外での緊急通報システム(ココセコム)の整備、入居しているテクノガーデンビル警備員による登降時などの安全見守り・防災センターとの連携など安心・安全が守られています。 ・職員の資質向上のため、年間計画に沿って積極的に研修を受講しています。また、クラス会議や職員会議を適宜行い、課題解決や共通理解が図られ職員が一体となり保育サービス向上に努めています。 ・手作り給食、クッキング保育などの食への興味関心を育む食育や豊かな人間関係が体験できる異年齢保育、配慮の必要な子どもへの臨床心理アドバイザーの巡回相談など、子どもの育ちを支える保育が行われています。
<p>特に改善を求められる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園は幕張新都心のテクノガーデンビルの1階にあり園庭がありません。戸外で自然に触れ、体を十分動かし遊ぶことは、子どもの心身の成長発達に必要です。地域の自然公園などの活用について検討（移手段など含めて）されることを期待します。 ・各種行事に保護者が参加していますが、普段の子どもの様子や姿を知ることができる保育参加や子育てについて話し合えるクラス懇談会など保護者支援の取り組みを期待します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

<p>「利用者に求められるサービスを提供する」という理念の下、保護者のニーズを確実に把握しながら、日々の運営に反映させるべく評価受審に臨みました。</p> <p>新体制として「キッズプラザアスク海浜幕張保育園」を一から作り上げていく中で、ここで得られた保護者や職員の意見を業務改善に取り組むための貴重な声として捉えていきたいと考えます。</p> <p>職員たちは初の受審であったため、調査票の記入や取り組みのアピールに戸惑いました。今後は系列園同士で統一してなされるべき点についてもう一度確認し、「利用者が本当に求める保育サービス」をさらに追求していけるよう、今回得た課題をクリアし、高く評価された点は継続していくため、全職員一丸となって努力して参ります。</p>
--

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

<p>全国で保育所83ヶ所（認可外含む）、学童・児童館45ヶ所を運営しており、どの運営施設でも『安全・安心を第一に』かかげ、利用者の方に信用、満足していただける場を提供しております。</p> <p>本年4月1日から、千葉市保育ルームから認可保育園へ移行しました。環境は幕張副都心の高層ビル群の中にあり、地域との関わりを大切にしています。</p> <p>今回の第三者評価の結果を全職員がしっかり受け止め、今後の保育へ反映していきます。</p>
--

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
福祉サービスの基本方針と組織	<ul style="list-style-type: none"> ・運営理念、保育理念、事業基本方針が明文化され、入園説明会や園内への掲示で、保護者並びに職員へ周知徹底されています。 ・中長期計画は、5カ年計画に策定され、それに基づき毎年の事業計画が作成されています。本年度は、人材の育成と職員の質の向上を重要課題として取り組が行われています。 ・事業計画や重要課題は、職員会議で話し合い決定されています。運営委員会や行事終了後のアンケート結果から、保護者ニーズが把握され、サービスの向上、改善が行われています。
組織の運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・運営理念に掲げる安全・安心は緊急時の対応がきめ細かくマニュアル化されています。具体的には、園独自の防犯マニュアルがあり、火災、地震、不審者などへの対応が明記され、周知されています。 ・保育の質の向上を目指し、全職員が個別年間研修計画に沿って受講し保育へ反映しています。 <p>改善事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地面の制約はありますが、利用者・福祉ニーズに応える地域交流・連携の取り組みを期待します。 ・組織運営管理の中で「職員評価のあり方、職場環境改善への意見反映」については、職員会議、園長面談などを通じ配慮されることを期待します。
適切な福祉サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位のサービスは、「子どもの様子」（アンケート）の中で保護者から高い評価を得ており、子ども達は職員を信頼し楽しく生活しています。 ・プライバシーの保護については、個人情報保護マニュアルに沿い職員会議で話しあわれ、書類の取り扱いにも細い気配りがされています。 <p>改善事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情の解決については、第三者委員を選任され体制が確立されるよう期待します。 ・3歳児以上保育室と廊下との境がなく、園内移動時などに子どもたちへの影響が懸念されます。職員会議などへ課題として取り上げ検討されることを期待します。

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
サービスの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標である歌声があふれ、笑顔で挨拶する心地よい雰囲気の中で、子ども達は明るく活発な姿が見受けられます。また、職員は優しく子ども一人ひとりに対応しています。 ・生活や遊びの中で様々な体験ができるように、歌、手遊び、製作などや夏祭り、お泊り保育、芋掘りなど、異年齢の交流を図りながら保育が行われています。 <p>改善事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが一日の多くの時間を過ごす保育室・エントランスでの自然や季節を感じられる花や植物、水槽での飼育など潤いのある環境づくりを期待します。 ・遊びは自発的、自主的活動であり、保育は養護と教育を一体として総合的に行われることから、保育プログラムを含め、午後のカリキュラムについて検討されることを期待します。

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果				評価結果
大項目	中項目	小項目	項目	
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1 ①理念が明文化されている。	A
			2 ②理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
		(2) 理念・基本方針の周知	3 ①理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	A
			4 ②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5 ①中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	A
			6 ①事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	A
		(3) 計画の適正な策定	7 ①施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが協議する仕組みがある。	A
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8 ①質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	A
			9 ②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A
Ⅱ 組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10 ①事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	A
			11 ②経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A
	2 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12 ①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	A
			13 ②人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	A
			14 ③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	A
		(2) 職員の就業への配慮	15 ①事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	B
			16 ②福利厚生に積極的に取り組んでいる。	A
			17 ①職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	A
	(3) 職員の質の向上への体制整備	18 ②定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	
		19 ③実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている	A	
		17 ①職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	A	
	3 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20 ①緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
			21 ②利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	A
			22 ①地域との交流・連携を図っている。	A
	4 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	23 ②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	B
			24 ③事業所が有する機能を地域に還元している。	B
			25 ④関係機関等との連携が適切に行なわれている。	A
			26 ①地域の福祉ニーズを把握している。	B
		(2) 地域福祉の向上	27 ②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A
			28 ①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	A
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	29 ②プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。	A
			30 ①利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。	A
		(2) 利用者満足の上	31 ②利用者満足の上に向けた取り組みを行っている	A
			32 ①苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	A
		(3) 利用者意見の表明	33 ②寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	B
			34 ③利用者からの意見等に対して迅速に対応している	A
	2 サービスの質の確保	(1) サービスの質の向上への取り組み	35 ①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
			36 ②課題発見のための組織的な取り組みをしている。	A
			37 ③常に改善すべき課題に取り組んでいる。	A
		(2) サービスの標準化	38 ①職員の対応について、マニュアル等を作成している。	A
			39 ②日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	A
			40 ①利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	A
	(3) 実施サービスの記録	41 ②利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	A	
		42 ①施設利用に関する問合せや見学に対応している。	A	
3 サービスの開始・継続	(1) サービス提供の適切な開始	43 ②サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	A	
		44 ①利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	45 ①一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	A	
		46 ②個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	A	
	(3) 情報の管理	47 ③個人情報保護に関する規定を公表している。	A	

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 キッズプラザアスク 海浜幕張保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織			
I-1 理念・基本方針			
I-1-1 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-1-1 ① 理念が明文化されている。	1	A	運営理念・保育理念が明文化され、保育園業務マニュアルや「入園のご案内」(重要事項説明書)、パンフレットに記載されています。
I-1-1-1 ② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	A	日本保育サービス運営本部(以下本部という)の運営理念、保育理念に基づく基本方針が明文化され、年間事業計画に反映されています。
I-1-2 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-2-1 ① 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	A	理念や基本方針は玄関ホール、各クラスに掲示されています。また、職員会議や研修会で職員に周知徹底されています。
I-1-2-1 ② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	A	理念や基本方針は「入園のご案内」(重要事項説明書)、「入園のしおり」に明記され、入園説明会で保護者に周知されています。
I-2 計画の策定			
I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-1-1 ① 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	A	5カ年計画(中・長期計画)に基づいた年間事業計画が作成されています。
I-2-2 重要課題の明確化			
I-2-2-1 ① 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	A	本年度は、人材育成などを重要課題として取り組まれています。
I-2-3 計画が適切に策定されている。			
I-2-3-1 ① 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが協議する仕組みがある。	7	A	年間事業計画や重要決定事項は、保育園業務マニュアルに定められたフローチャートにより、職員会議などで協議し決定されています。

評価基準		評点	コメント
I-3 管理者の責任とリーダーシップ			
I-3-(1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(1)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	A	サービスの向上・改善は、保護者との話し合いの場である運営委員会やアンケートで保護者の要望を把握し、クラス会議、職員会議で話し合い、園長の指導の下で実現しています。また、第三者評価の受審によって、サービスの質の向上を図っています。
I-3-(1)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	A	経営や業務の効率化・改善は主に本部（企画）が担当するが、保育現場からの改善などは、園長会議へ提案・協議される仕組みになっています。
II 組織の運営管理			
II-1 経営状況の把握			
II-1-(1) 経営環境の変化等への対応			
II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	A	保育事業を取り巻く状況の把握は、主に本部（企画）が担当し、千葉市と定期的に情報交換をしています。また、他の福祉関係機関からも保育関連情報を入手しています。
II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	A	本部が、日々の利用状況を見ながら経営状況を分析し、保護者の要望を踏まえた質の高いサービス提供を図るため改善課題に取り組んでいます。
II-2 人材の確保・養成			
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
II-3-(1)-①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	A	職員が守るべき倫理は、就業規則に明文化され、かつ、新入社員研修などで周知徹底されています。
II-2-(1)-②人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。	13	A	人事方針は就業規則、保育園業務マニュアルに明文化されており、計画的・組織的に行われています。
II-2-(1)-③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	A	人事評価は、就業規則、保育園業務マニュアルに客観的な基準が明確になっています。人事評価基準の理解と周知に不足が見られるので、改善されることが望まれます。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-①事業所の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	B	人員配置、シフト勤務など勤務体制は、クラス会議、職員会議で職員の合意を図りながら柔軟に行っています。就業環境改善については、職員の意見・要望を機会あるごとに把握されることが望まれます。
II-2-(2)-②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	A	福利厚生は、外部施設を法人会員としての利用やメンタルヘルスチェックを実施しています。また、子育て支援として育児休暇が整備されています。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上への体制整備			
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	A	教育・研修が重視され、基本方針は保育園業務マニュアルに明記され、事業計画にも記載されています。また、全職員が、年2回研修計画を作成しています。
Ⅱ-2-(3)-② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	A	研修計画に基づき受講し、研修レポートを作成、提出しています。その後ファイルし、回覧しています。研修内容は職員会議で報告し、保育に活かされています。評価、見直しは半年毎に行われています。また、研修は、人事評価の対象になっています。
Ⅱ-2-(3)-③ 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	A	実習生の受け入れ体制は整備されています。また、中学生を対象にした職場体験学習の受け入れをしています。
Ⅱ-3 安全管理			
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
Ⅱ-3-(1)-① 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	A	感染症・災害・緊急時の対応及び消防訓練は、保育園業務マニュアルに沿って実施されています。月1回の安全委員会で安全確保のフォローをしています。また、幕張テクノガーデンの防災安全システムがフルに活用されています。
Ⅱ-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	A	園独自の防犯マニュアルがあり、「火災、地震、不審者などへの対応」が明記されています。登降時には、幕張テクノガーデンの警備員による監視や園内外の緊急通報システム(ココセコム)が整備されています。また、幼児安全法の講習を受講しています。
Ⅱ-4 地域との交流と連携			
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
Ⅱ-4-(1)-① 地域との交流・連携を図っている。	22	A	地域に開かれた保育園を目指し、「街なかオープンガーデン作戦」、「幕張新都心クリーンの日」などに参加しています。立地の面で制約もあるが、地域との交流について(例えば、高齢者との交流)、職員会議、運営委員会などで検討されることが望まれます。
Ⅱ-4-(1)-② 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	B	施設外の社会資源情報を収集しています。収集した子育て関連情報を利用者が活用しやすい工夫が望まれます。
Ⅱ-4-(1)-③ 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	B	ホームページで園の保育活動を地域に紹介しています。育児相談、子育て支援など地域の支援活動に積極的な取り組みが望まれます。
Ⅱ-4-(1)-④ 関係機関との連携を図っている。	25	A	千葉市関係機関や幕張テクノガーデンと密接な連携が図られています。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ-4-(2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
Ⅱ-4-(2)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	26	B	地域関係機関と連携し、地域ニーズの把握に努めています。 民生委員・児童委員、主任児童委員との連携を図り、福祉ニーズの情報収集をされることが望まれます。
Ⅱ-4-(2)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	A	延長保育、産休明け保育を実施し、地域のニーズに応えています。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 キッズプラザアスク 海浜幕張保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	A	プライバシー保護については、個人情報保護マニュアルに明示されており、職員会議で話しあい、周知されています。
Ⅲ-1-(1)-② プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	A	個人情報保護方針（プライバシーポリシー）が守られ、掲示物・おたよりや書類などについて、各クラスで徹底したプライバシー管理が行われています。
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に務めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	A	行事開催ごとにアンケートの実施や運営委員会も行われ、利用者のニーズを把握しています。個人面談も利用者の希望を確認行っています。
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	A	アンケートの結果や個人面談などで出された要望について、職員会議などで話し合い、改善が図られています。
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	A	保護者からの苦情や意見受付は、入園説明会や園内にも掲示され、ご意見箱も設置されています。また、電話での問い合わせにも対処しています。
Ⅲ-1-(3)-② 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	B	苦情連絡先は本部のみとなっており、今後の苦情処理は第三者委員の選任も含め早期に体制を確立されることを望みます。
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	A	保護者からの意見や提案への対応は保育園業務マニュアルに明示されており、それらに沿って職員会議やクラス会議で検討し、速やかに改善する体制が整っています。

Ⅲ-2 サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に 行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う 体制を整備している。	35	A	認可保育園として1年目に第三者評価を受審されたことは評価出来ず。出された課題について改善に取り組まれることを期待します。
Ⅲ-2-(1)-② 課題発見のための組織的な取り組みをして いる。	36	A	課題についてクラス会議や職員会議で話し合い、連絡ノートに記録しています。重要な事項について職員一人一人に徹底し、押印されています。
Ⅲ-2-(1)-③ 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	A	クラス会議で課題を明確にし、職員会議で話し合い共有化が図られ、必要に応じて改善に向け努力しています。
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立して いる。			
Ⅲ-2-(2)-① 職員の対応について、マニュアル等を作成 している。	38	A	保育園業務マニュアルがあり、職員は保育に関する対応が周知されています。定期的研修が行われ、新卒者は基本的マナー研修を受け、随時園長が面談を行っています。
Ⅲ-2-(2)-② 日常のサービス改善を踏まえてマニュアル の見直しを行っている。	39	A	保育園業務マニュアルに見直し時期があり、サービス向上に向けた改善を職員会議などで話し合い、園長会議で見直しが行われています。当保育園独自の防犯マニュアルも作られています。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者の日常の体調の変化を把握して、そ れを記録している。	40	A	朝の健康チェックや保護者との情報交換、1日3回の検温などで健康状態を確認し、保育日誌に記録されています。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者の状態変化などサービス提供に必要 な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがあ る。	41	A	情報の伝達は本部との体制が整備されています。怪我などはアクシデントレポートを提出し報告されています。職員には連絡ノートなどで情報が伝えられています。
Ⅲ-3 サービスの開始・継続			
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-① 施設利用に関する問合せや見学に対応して いる。	42	A	ホームページで活動内容が公開されています。また、本部で理念やサービスの内容を紹介したアニメ化された本を作成しています。見学や問い合わせについても随時対応されています。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し 同意を得ている。	43	A	入園時に、入園のご案内(重要事項説明書など)で保護者へ説明がされています。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定			
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-① 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	A	入園時、個人面談を行い、一人ひとりの課題やニーズを把握し、入園後はクラス担任が子どもの身体状況や生活状況を児重票に記録して、必要に応じて職員全員に周知されています。
Ⅲ-4-(2) 個別支援計画の策定			
Ⅲ-4-(2)-① 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	A	個別指導を必要としている子どもについては、個別指導計画が作成されています。
Ⅲ-4-(2)-② 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	A	個別支援計画についてはクラス会議などで話し合い、前月の反省をふまえて月の指導計画が作成されています。情報は連絡ノートで全職員に周知されています。
Ⅲ-4-(3) 情報の管理			
Ⅲ-4-(3)-① 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	A	個人情報保護に関する規定は整備されており、保育園内やホームページに掲載されています。

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果							
大項目	中項目	小項目		項 目	評価結果		
IV 保育所	1 子どもの発達援助	(1)	発達援助の基本	1 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A		
				2 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	A		
		(2)	健康管理・食事	3 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A		
				4 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A		
				5 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	A		
				6 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A		
				7 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A		
				8 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A		
				9 アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A		
				(3)	保育環境	10 子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	A
						11 生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	B
		(4)	保育内容	12 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	A		
				13 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A		
				14 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A		
				15 身近な自然や社会と関われるような取組みがなされている。	B		
				16 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	A		
				17 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	A		
				18 性差への先入観念による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A		
				19 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A		
				20 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A		
	21 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。			A			
	2 子育て支援	(1)	入所児童の保護者の育児支援	22 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A		
				23 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A		
				24 こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	B		
				25 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	A		
				26 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	A		
		(2)	一時保育	27 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	非該当		

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 キッズプラザアスク 海浜幕張保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV 保育所			
IV-1 子どもの発達援助			
IV-1-(1) 発達援助の基本			
IV-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	A	保育過程・指導計画が保育所保育指針などを踏まえ作成されています。保育過程は職員会議で話し合い、本部の理念・保育の基本方針に基づいています。
IV-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	A	指導計画の評価など、必要に応じクラス担当と主任保育士参加のクラス会議が行われ記録されています。評価結果が指導計画に反映されています。子どもの一日の生活や遊びの中での午後のカリキュラムについての検討を期待します。
IV-1-(2) 健康管理・食事			
IV-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	A	保育園業務マニュアル、「朝の受入れ・発熱・病気・怪我の対応」などがあり、子どもの健康状態の把握や健康調査票（既往症・予防接種など）を活用し、職員の情報共有のもと保育が行われています。怪我・体調悪化などは保護者に連絡・直接担当が報告し、その日の過ごし方も部屋が用意され、個別に対応しています。
IV-1-(2)-② 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	A	嘱託医による健康診断（年2回）、歯科検診（年1回）を行い、その結果を保護者に文書で伝え、保育に反映されています。また、毎月、身長・体重測定を実施し、必要に応じ嘱託医に相談・保護者に伝えていきます。健康に関する個人情報に留意し、職員は守秘義務の遵守に努めています。
IV-1-(2)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	A	感染症対応マニュアルがあり、各クラスに（手袋・マスク・エプロン・消毒など）セットを用意し迅速に対応できるように準備されています。また、災害・緊急時の対応マニュアルがあり、安全委員会（本部で月1回）での安全対策、チェック表での確認、アクシデントレポートでの怪我などの報告など取り組まれています。インシデント・レポート（ヒヤリ・ハット）の活用を期待します。
IV-1-(2)-④ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	A	3歳未満児は食材の皮むきやスタンピング、3歳以上児はクッキングなど年齢に応じ、食への興味・関心を育むクッキング保育が行われています。また、月1回伝統行事（子どもの日・雛祭りなど）にちなむ給食やお楽しみ献立が実施されています。子どもの当番活動や給食スタッフ手づくりの季節の食べ物表の掲示、食に関する絵本やクイズ遊びなど食育保育が進められています。食事の雰囲気づくりとして布団を敷くタイミングの考慮を期待します。
IV-1-(2)-⑤ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	A	給食は本部による統一献立で実施されています。給食会議を月1回開き、喫食状況などを把握し報告して、献立に反映できるように取り組んでいます。
IV-1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	A	献立表・離乳食・アレルギー食それぞれ事前に保護者に配布し、「給食だより」にはレシピや食に関する情報など載せ、啓発に努めています。また、試食会の実施や保育・調理スタッフの協力のもと、1年の食育の取り組みを写真などをまじえた記録を掲示し、保護者に伝える取り組みが行われています。
IV-1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	A	食物アレルギー疾患については、医師の診断による指示書に基づき、除去食や他児との差がないように配慮した（例えば、誕生会にはアレルギー成分を除いたケーキなど）代替食が提供されています。また、誤食のないようにクラスでのチェック表や口頭確認、専用トレイ使用などの対策が取られています。

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV-1-(3) 保育環境			
IV-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	A	テクノガーデンビル全体の空調管理がされています。保育室・手洗い場・トイレなど、チェック表の活用で清潔が保たれています。また、砂場は定期的に消毒が行われています。乳児の布団はリースによる消毒乾燥、1歳以上児の布団カバーは園で洗濯乾燥されています。敷布団の通気性などの配慮を期待します。
IV-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	B	室内はコーナー遊びの工夫や子どもが楽しみながら制作した装飾など、落ち着いた雰囲気です。また、散歩など園外での活動を多くするように努めています。3歳以上児の保育室のレイアウトや室内外での自然と潤いが感じられる環境の工夫を期待します。また、園庭のない立地条件を考慮し近隣の資源を活用して、自然に触れ、体を十分動かし遊べる方策の検討が求められます。
IV-1-(4) 保育内容			
IV-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	A	保育園業務マニュアル「園児への言葉かけ」に沿い、子ども一人ひとりに応じた言葉づかいや温かく受容し、安心感が持てるように努めています。
IV-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	A	クラス会議で生活習慣などの援助や課題など話し合い、衣服の着脱・整理・排泄など、一人ひとりの状況に応じ、自分でやろうとする気持ちを育む取り組みが行われています。水分補給は必要に応じて行われていますが、3歳以上児は、随時自由に飲める環境の工夫を期待します。
IV-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	A	自由遊びの時間を設け好きな遊びができるようコーナーが設けられています。また、5時から曜日により異年齢での遊びを提供し、自分の好きな遊びを選び自発的に活動に参加できるように働きかけています。
IV-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	15	B	散歩に出かけ自然物を作品や遊びに取り入れれたり、秋にはいも掘りなどの取り組みを行っています。また、七夕・節分など伝統的な行事を保育に取り入れています。保育園はオフィス街で自然環境や地域の人たちと接することが難しい状況がありますが、自然や社会と関われるような方策を期待します。
IV-1-(4)-⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	A	3歳以上児は異年齢児のクラス編成で、日々の生活や遊びの中で自然に交流が図られ、行事や当番活動などを通して、思やりや社会的ルール、人間関係が育まれています。
IV-1-(4)-⑥ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	A	子どもの意思や気持ちを尊重する語りかけや見守りを行っています。また、外国籍の園児も在籍しており、子どもの人権や文化の違い、食事への配慮など全職員の共通理のもと保育が行われています。
IV-1-(4)-⑦ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	A	保育園業務マニュアル「性差や男女の役割分業意識への対応」に沿い、クラスの会議で話し合いのもと保育が行われています。
IV-1-(4)-⑧ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	A	手遊びや歌・絵本などで子ども一人ひとりへの語りかけや触れ合いを大切にしています。また、外気に触れたり散歩(雨天はテクノガーデン内)を多く取れ入れています。離乳食は担任や栄養士との保護者面談のもと進められています。SIDSの研修を全スタッフが受け、午睡中は10分ごとに安全確認し、生活・睡眠記録簿に記録されています。
IV-1-(4)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	A	延長保育児に補食が提供され、7時から20時まで職員のシフト勤務により日中保育との一貫した保育が進めやすい体制になっています。延長保育日誌に保育内容・申し送り事項が記録され、保護者への伝達漏れのないよう配慮されています。
IV-1-(4)-⑩ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	A	障害児は入園していませんが、障害児保育の研修に参加し、受入れ体制は整っています。配慮の必要な子どもについては、臨床心理士アドバイザーの巡回指導での相談・助言を受け、囁託医や市と連携し対応しています。

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV-2 子育て支援			
IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援			
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	A	保育業務マニュアル「登降園時の対応」に沿い、受入れは登園口で担当職員が受入れ、降園時には保護者が保育室まで入り職員との話や持ち物の確認など行われています。また、連絡帳の活用や年2回個人面談を行い情報交換や相談が行われています。
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	A	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が、必要に応じて児童票に記録され園長・主任保育士により確認されています。
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	B	保護者との話し合いの場である運営委員会(年2回)で保育園運営や保護者の意見を聞く機会を設け、また親子遠足・夏まつり、運動会など保護者が一緒に参加できるように配慮しています。普段の保育の様子や子どもの姿に触れる保育参加の実施や子どもの発達や子育てなど話し合えるクラス懇談会の開催を期待します。
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	A	虐待対応マニュアルがあり、職員が研修にも参加し、おむつ交換・着替えなど子どもの身体の変化に気づくようにし、早期発見に努めています。虐待が疑われる場合は、速やかに園長に報告する体制があります。
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	A	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、通告を行う体制があります。虐待防止のポスターを掲示しています。
IV-2-(2) 一時保育			
IV-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	非該当	